



**第6次新宮町総合計画後期基本計画
及び
第3期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略**
令和8(2026)年度～令和12(2030)年度



福岡県新宮町
令和8年3月



町長あいさつ

新宮町では、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間を計画期間とする第6次新宮町総合計画を策定し、将来像として掲げた「人がいきいき 未来をつむぐ 挑戦するまち しんぐう」の実現に向け、前期基本計画期間となる5年間に、分野別の基本目標で定めた具体施策に取り組んでまいりました。近年では、下府地区及び三代地区における両土地地区画整理事業の整備が進み、さらには立花口地区におけるスマートインターチェンジの事業化が決定したことにより、今後ますます町が発展していくことが期待されます。

本町は令和7（2025）年4月に、「合併70周年」という大きな節目を迎えました。この節目は、これまで本町の発展に尽力されてきた先人の歩みに深く敬意を表するとともに、今後の新たなまちづくりについて千思万考する重要な機会となりました。また、令和7（2025）年度は第6次新宮町総合計画期間の中間年度にも当たることから、このたび前期基本計画の取組を総括し、さらに「第3期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体化させることで、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までを計画期間とする第6次新宮町総合計画後期基本計画として内容を見直しました。

令和8（2026）年度からスタートするこの後期基本計画においては、前期基本計画の取組を継承・発展させるとともに、まちづくりの根幹として基本構想に掲げる3つの基本理念「人を思いやり快適に暮らせるまちづくり」「環境を活かし次世代へつなぐまちづくり」「共に活動し共に活躍するまちづくり」を、実現するために、町民の皆さまが安全に、そして安心して生活することができる持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいります。

第6次新宮町総合計画後期基本計画の着実な推進を通じ、目標とする将来像の実現に向けて、町民の皆さまとともに歩みを進めてまいりますので、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、この計画の策定に当たり、パブリックコメントに御協力いただきました皆様、また貴重な御意見をいただきました新宮町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員の皆さまに心から感謝申し上げます。



令和8（2026）年3月






新宮町長 桐島 光昭

新宮町民憲章

わたくしたちは、新宮町が自然と調和した明るい豊かな街に発展することを願い、この憲章を定めます。

- 一．立花山の勇姿を仰ぎ緑豊かな町にします。
- 一．ふるさとの歴史と伝統を受けつぎ新しい文化豊かな町にします。
- 一．玄海の自然と幸に感謝し豊かな心身を育む町にします。
- 一．さわやかな人情豊かな福祉の町にします。
- 一．知識を深め勤労をよろこび豊かな産業の町にします。

平成 5 年 5 月 1 日制定

 <p>【町章】</p>	昭和 52 年（1977 年）8 月、公募（広く人々から募集した）作品のなかから選ばれました。町章の構図は新宮の頭文字「シ」を図案化したもので、左上の 2 つの丸い点は町の特産である立花ミカンを表しています。またこれを囲むような円は玄界灘の跳ねる魚をかたどっています。		
 <p>【町花】</p>	<みかんの花> 立花山一帯は「立花みかん」の産地で 5～6 月ごろに真白で五弁のかれんな花を咲かせます。	 <p>【町木】</p>	<クスノキ> 特殊な芳香をもつ常緑高木で立花山に自生する原生林は国の天然記念物に指定されています。
 <p>【町鳥】</p>	<メジロ> 眼の周囲の白い輪が特徴で、温暖な地域に生息しています。活発に動き鳴き声も美しい鳥です。	 <p>【町木】</p>	<松> 古来から長寿の象徴で、海岸線に防風、防砂林として多く植林され「白砂青松」の景観をつくっています。

目次

序論	1
1 総合計画策定の趣旨.....	2
2 総合計画の位置付け.....	2
3 総合計画の構成と期間.....	3
4 まちの将来人口.....	4
後期基本計画	5
基本計画の体系.....	6
基本目標1 子育て環境が充実したまち.....	8
基本目標2 自分らしく豊かな心を育むまち.....	16
基本目標3 共に支え合い健やかに暮らせるまち.....	24
基本目標4 環境にやさしく快適に暮らせるまち.....	34
基本目標5 安全で安心して暮らせるまち.....	46
基本目標6 地域の魅力を活かし賑わいを生みだすまち.....	52
基本目標7 みんなの力でつくる持続可能なまち.....	60
第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略	67
1 第3期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略としての取組.....	68
基本目標1 地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を 育て活かす.....	70
基本目標2 地域への新しいひとの流れをつくる.....	71
基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域をつくる....	72
基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と 地域を連携する.....	73



SHINGU
TOWN

序論

1

総合計画後期基本計画策定の趣旨

新宮町では、平成 23(2011)年度に 10 年間で計画期間として第 5 次総合計画を策定し、「人が輝き 快適に暮らせる 元気なまち 新宮」をまちの将来像に掲げ、その実現に向けて総合的かつ計画的にまちづくりを進めてきました。この間、JR 新宮中央駅の開業や大型商業施設の進出、マンション・戸建住宅などの建設による急激な人口増加など、町の姿が大きく変化しました。これらの変化に対応するため、平成 27(2015)年度に将来予想人口の見直しや都市空間形成の方針変更など基本構想の見直しを行いました。

今後の 10 年間では、新たな開発の動きもあり引き続き人口は増加する一方、地域によっては高齢化や人口減少が進み、住民ニーズや地域課題の多様化など、行政運営は一層厳しくなることが見込まれます。その後は令和 22(2040)年頃をピークに人口は減少し、特に 20 年後から 30 年後には超高齢社会へと向かう大転換期を迎えることが予想されます。

そのため、今後の町の姿やあり方をしっかりと捉え、それに相応しい基本理念や将来像を定義するとともに、今後 10 年間の取り組みとして、『20 年後や 30 年後の社会情勢などを踏まえた準備期間としての方向性』と『引き続き発展性のあるまちづくりに対応した方向性』の 2 つの視点で整理した令和 3(2021)年度を始期とする、第 6 次新宮町総合計画を策定しました。

後期基本計画の策定にあたっては、町の置かれている現状を十分に認識し、前期基本計画の進捗状況や新たな課題を的確に把握・整理し、作成しました。

2

総合計画の位置付け

総合計画は、まちづくりを進める上で最も上位に位置付けられる計画であり、まちづくりの目標とその実現に向けた方策を示しています。先に述べたように、今後 10 年間は、将来、町を取り巻く環境の大きな変化に対応するための準備期間として捉えており、20 年後、30 年後を見据えた将来的展望に立った策定を行っています。

なお、本計画は、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）に規定する地方版総合戦略（新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略）としても位置付け、一体で取り組んでまいります。



3

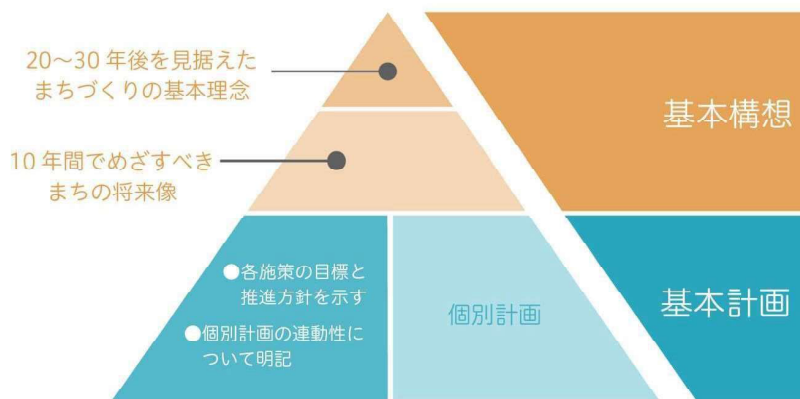
総合計画の構成と期間

基本構想

基本構想は、『20年後や30年後の社会情勢などを踏まえた準備期間としての方向性』と『引き続き発展性のあるまちづくりに対応した方向性』の2層構造を基本としており、計画期間の10年間は、長期を見据えた、将来に責任を持った持続可能なまちづくりを実現するための準備期間と位置付けています。

基本計画

基本計画は、基本構想に掲げる目標の実現に向け、町が取り組むべき事業の方向性や施策を示すとともに、分かりやすい計画を心がけ、5年ごとに見直します。また、住民の役割や施策の達成度、個別計画との連携についても明記します。



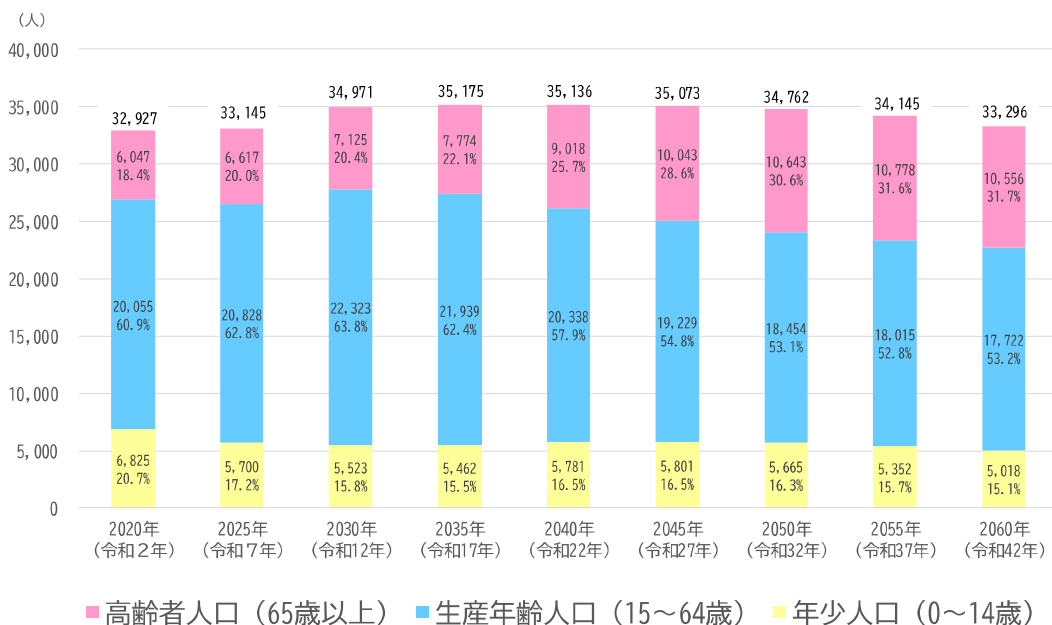
令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)
基本構想 (令和3(2021)年度～令和12(2030)年度)									
前期基本計画 (令和3(2021)年度～令和7(2025)年度)					後期基本計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略 (令和8(2026)年度～令和12(2030)年度)				

4

まちの将来人口

第3期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョンの人口の予測は、各分野の基本計画を推進していく上で根幹的な指標となるものです。全国的に人口が減少傾向にある中で、町の人口は大規模な宅地開発や分譲マンションの建設を受け、結婚を契機とした若年層や子育て世代の転入などにより増加を続けています。しかし、人口増加の大きな要因であった開発もピークを越え、令和17(2035)年まで人口が増加したあと横ばいが続き、令和22(2040)年頃から徐々に人口が減少に転じることが予想されます。

人口の増加傾向を考慮し、基本構想の目標年度である令和12(2030)年の将来人口を34,900人と想定します。



資料：第3期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョンから